中央図書館で

文学散歩

展示期間：令和 8（2026）年 11 月 20 日（金）
～12 月 16 日（水）

展示場所：中央図書館地下 1 階 Hon+α！スペース

中央図書館が登場する本

作中で中央図書館を訪れる 4 冊を紹介します！
本を片手に、登場人物たちの足跡をたどってみませんか。

越尾圭『なりすまし』
（角川春樹事務所）

3F 調査・研究コーナー

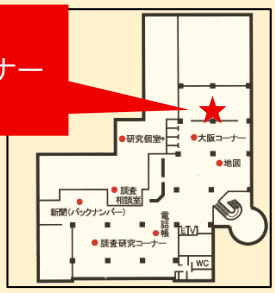
登場ページ
p209～215



万城目学『プリンセス・トヨトミ』
（文藝春秋）

3F 大阪コーナー

登場ページ
p251～252



芦辺拓『時の密室』
（講談社）

3F 調査・研究コーナー

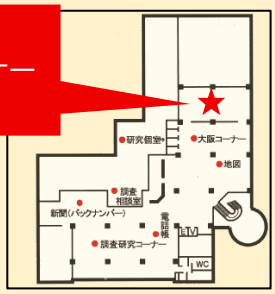
登場ページ
p244～246
p253～258



『Genesis　されど星は流れる』より
堀晃『循環』（東京創元社）

3F 大阪コーナー

登場ページ
p210～211



作中に中央図書館が登場する本は他にもあります。
物語の舞台を探してみませんか。

津村記久子『エヴリシング・フロウズ』（文藝春秋）　登場ページ　p320～321
島田荘司『写楽　閉じた国の幻』（新潮社）　登場ページ　p10～13
黒川博行『悪果』（KADOKAWA）　登場ページ　p246～247
東野圭吾『白夜行』（集英社）　登場ページ　p88
秋吉理香子『月夜行路』（講談社）　登場ページ　p56、p104～108

VR で文学散歩

大阪市立中央図書館リニューアル 30 周年を記念して、VR 画像で館内を巡るバーチャルツアー「VR ツアーで見る大阪市立中央図書館のいま・むかし」を大阪市立図書館ホームページ上に公開しています！

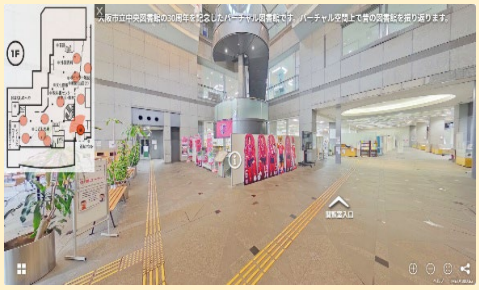
本ツアーでは、リニューアル前の中央図書館の写真も合わせて掲載していますので、VR 画像と見比べながら「いま」と「むかし」の変化もお楽しみください。

普段は立ち入れない地下書庫の様子も VR 画像でご覧いただけます。

公開期間は令和 8(2026)年 12 月 31 日(木)までですので、この機会にぜひご体験ください。

「VR ツアーで見る大阪市立中央図書館のいま・むかし」
体験はこちらから→

「VR ツアーで見る大阪市立中央図書館のいま・むかし」で見られる画像



現在の中央図書館 1 階正面玄関



昔の中央図書館 1 階正面玄関

大阪市立図書館と司馬遼太郎さん

作家の司馬遼太郎さんが、大阪市立図書館の 1 日館長を務めたことがあるのをご存じですか？

1962年 11 月 1 日、リニューアル前の中央図書館で、司馬さんは開館1周年記念行事として1日館長を務められました。その際の司馬さんの講評が、当時の図書館通信に掲載されています。

「私は市立図書館とは誠に縁が深く、まだ子供のころから戦前の御蔵跡図書館へ通いつめ、とうとう読む本がなくなって模型飛行機の本まで読んでしまったものでした。」　(『図書館通信：大阪市立図書館報』No.8(1962 年12月)より)

司馬さんも親しんでおられた昔の中央図書館へ、VR ツアーを通じて思いを馳せてみませんか。